

研究助成対象課題題目

◆2018 年度（8 件）

- 1) スマートフォンアプリによる若者のヘルスリテラシー向上の実証研究 ～メンタルヘルスの改善を目指して～
- 2) 中小企業被雇用者に対する一般健康診断の有効性の評価
- 3) 病院看護職のメンタルヘルスケアに貢献する光触媒型・病院臭気装置の開発
- 4) 「咀嚼」に着目した転倒リスク評価システムの開発と運動器機能向上プログラムへの応用
- 5) 介護職員と利用者との関係によるストレス：利用者によるハラスメントの内容ならびに程度と介護職員の利用者理解との関連に焦点を当てて
- 6) 就労妊婦の健康と生産性を両立させた働き方モデルの構築
- 7) 職場におけるメンタルヘルス不調を予測するバイオマーカーに関する研究
- 8) 壮年期労働者における地域・職域でのロコモティブシンドローム一次予防に向けた下肢筋力指標の開発 ～30 秒椅子立ち上がりテスト(CS-30)の信頼性・妥当性・実用性の検討～

◆2019 年度（10 件）

- 1) 20 歳代女性に対する子宮頸がん検診を促す Information Technology(IT)を取り入れた教育プログラムの効果検証
- 2) ポジティブ心理学に基づく「漸進的使命感」尺度を用いた面接技法の開発～勤労者に対するパイロットスタディー～
- 3) 可溶型(プロ)レニン受容体のタイプ別定量法の確立
- 4) 技能実習生のストレスおよび受け入れ企業における支援
- 5) 働く世代の慢性腎臓病発症予測モデルを大規模データから構築する
- 6) 産業看護診断の開発過程における診断指標の内容妥当性の検証～DCV モデルおよびデルファイ法を用いて～
- 7) 就労女性に対する更年期症状マネジメントプログラムの開発
- 8) 高齢期における死別が食生活に及ぼす影響：5 年間の縦断研究
- 9) 日本の労働者を対象とした職場における疾患横断的な抑うつ・不安症状予防インターネットプログラムの開発
- 10) 気分状態見える化 IoT アプリの活用による、非特異的慢性腰痛・ストレス関連疾患の制御

◆2020 年度(7 件)

- 1) 日中の眠気に対する短時間ハンドグリップ運動の効果検証
- 2) 就労妊婦に於ける職務内容調整ツールの開発とユーザビリティ評価
- 3) 脳血管内皮依存性脳血流増加を基盤とした認知症の革新的予防・治療法の開発
- 4) 膵臓癌の増殖・進展・予後に於ける CD109 発現の意義の解析
- 5) 子育て期の女性のメンタルヘルスを良好に保つパンデミック下の職場の対応とは？-全国縦断調査による検証-
- 6) 総合健康管理センターを介した嚔下機能改善トレーニングの普及とその検証
- 7) 笑い声聴取によるストレス軽減効果の検討:近赤外線分析法(NIRS)による脳活動の情動反応の考察から

◆2021 年度(8 件)

- 1) 熊本県統一心エコーマニュアル作成による熊本県心エコー図検査標準化とその検証
- 2) 大腸がん手術後の就労に関する研究
- 3) 「就労環境に着目した保健指導」 研修方法の開発
- 4) COVID-19 感染予防対策に於ける入院患者の面会代替手段であるビデオ通話の効果
- 5) テレビ電話を活用して賞賛を与える家族面会による認知症高齢者の表情改善とストレス軽減効果の検討
- 6) 血液がん患者のサルコペニアが身体機能や QOL に及ぼす影響の調査
- 7) 郊外在住高齢者に於ける運転免許返納後の生活・行動様式と心身機能の変化及びその要因に関する研究
- 8) 職場パワーハラスメントに於ける認識、体験、怒りに関する基礎的検討と対策への応用の試み

◆2022 年度(8 件)

- 1) 労働で生じる疲労/眠気の程度を他覚的定量評価できるストレスチェックシステムの開発
- 2) リポ蛋白変換による認知症掃討作戦 その実現にむけた基礎研究
- 3) 「働きがい」に着目した新たな職場復帰支援法の構築に向けた試み
-第三世代認知行動療法の価値とマインドフルネスが及ぼす影響-
- 4) リモートワークのメタバース空間で、従業員の健康を守る
- 5) 中小企業で働く従業員を支援する産業看護職のための多職種連携モデルの開発
- 6) 生活習慣と月経前症候群の精神症状との関連
-トリプトファン摂取・日光浴・リズム性運動に着目して-
- 7) DNA 修復蛋白 REV7 をターゲットとした膵癌の新規治療法の開発
- 8) 職場における嚔下機能スクリーニングの有用性の検証